

「始めましょう」

おはようございます。

夏休みが明け、みんなの顔を見ることができてとてもうれしいし、ほっとしています。

そうそう、新しい仲間を、今日から来週から80人近くもお迎えします。どうぞよろしく願います。それでは、新しい仲間と一緒に、今日から、始めましょう！

さて、夏休み前、私はみんなに「体験がいっぱいできる夏休みになりますように」と願っていました。「夏休みに体験を」というと、「旅行へ行ってきた」とか、「その旅先で何々をしてきた」ということが思い浮かびます。そういう体験はもちろんいいと思います。けど私は、どちらかというと、小さな体験の積み重ねも「いいな」と思っています。小さな体験？

私が考える小さな体験というのは、お家の中でできること。たとえば、漫画を読む。文学作品を夢中になって読みふけるようなことで、その体験を通して、新しい世界に触れるという「経験」を「いっぱいしてほしいな」と思っています。

他に、「お家の中にある牛乳パックやお菓子の箱を切り開いてみる」というのも小さな体験で、「切るところによっていろいろな形の展開図になった」なんて気付くことができたなら、すごい「経験」をしたのではないかと思っています。「体験」が「経験」を生むということかな。

小さな体験ならば、夏休みが終わった今からでもできます。さあ、始めましょう！

この先は、高等部のあなたへ

今から50年も前の出来事。私は高校に入学しました。入学という、うれしいはずの日なのに、私は下を向いていました。周りを見ると、隣の人も、前にいる人も、下を向いていたように思えます。私が住んでいた都市は、市内にある普通科公立高校のレベルを均等にしようと、「二つ」の高校を組んで「一つの群」をつくり、その群を選んで受験した中の合格者は、二つの高校のどちらかに振り分けられる、というしくみになっていました。

そのしくみにより、私は進学したいと思っていた高校の方に入学することができませんでした。それが下を向いていた理由で、今から思うと、見方が広くない考え方も浅い高校生のため、了見の狭さから、そのように思ってしまったと反省しています。

私がいくら腹を立てようと、入試のしくみを恨んでも、この先が変わることはありません。そこで、何かを始めようと思い立ちました。それが、ラグビー部への入部。始めると、楽しかった。仲間とラグビーをやるのが。汗をいっぱいかいた。上級生になり、キャプテンに指名された時には、入学日に下を向いていた自分がこの高校にいることに誇りを持つほどに変わっていました。

その時から、私の「生き方探し」が始まりました。ラグビーと出会い、仲間を大切にすることを学んだ経験、高校入学という「体験」を機に、仲間と色々な「経験」をすることができたから。

その後、仲間から、「おまえは先生に向いている」と言われ、その言葉掛けに乗った私は、「教師になりたい」という思いを持つようになり、今に至っています。

先生になって、42年が経ちます。しかしその間、「十分に出来た」と思うようなことは一度もなく、常にアップグレードを欠かさないための「何かを始めなければ」と思っています。

さてあなたは、現地校に通い、補習校でも学んでいます。

二つの学校の中で、自分とは違う考え方、やり方、言い方など出合い、お互いに理解し合うという「経験」をしています。また仲間や先生方と、おしゃべりし、笑って、うなずき、えっ、ほんとう？と驚いたり、ちがうよ、とかぶりを振ったり、またおしゃべりし、笑うなどして過ごしています。一緒に過ごす中で、多様性と言う、豊かさ、楽しさ、美しさまでも実感しています。そのようなあなただからこそ、今日からは、「将来何になりたいか」を考えることよりも、「大人になってどのように生きるか」を考え始めてほしいと思っています。もしもあなたが、「もうすでに考え始めているよ」というのなら、その内容（希望）をお話に来てほしいな。

以上のようなことを考えながら、8月スタートの日を迎えました。

あなたの今の日々は、とても尊いもので、かけがえのないものです。

だからこそ、「始めませんか」「始めましょう」という言葉を、あなたに伝えたいですね。